

2019年に実施した広報文化行事

公邸での生け花ワークショップ

11月16日(土)



11月16日、草月流生け花師範の新井里佳氏を大使公邸にお招きし、女性向けの生け花ワークショップを開催しました。講師によるデモンストレーションの後、「水と花」とのテーマに沿って、4名の参加者が生け花体験を行いました。

第3回日本語弁論大会の開催

11月16日(土)



16日、文化宮殿にて、第3回日本語弁論大会を開催しました。大会には、日本語を勉強する11名のアルジェリア人が出場し、それぞれスピーチを行いました。1位優勝者にはJTI社により日本往復航空券が贈られ、2位及び3位受賞者には、それぞれ日系企業より、賞品が授与されました。

「ジャパン・ウィーク」の開催

11月14日(木)～16日(土)



11月14日～16日、アルジェ国立美術館において、「ジャパン・ウィーク」の各種イベントを開催しました。草月流生け花師範の新井里佳氏及びアルジェリア人折り紙アーティストのハフス氏を招き、生け花と折り紙のデモンストレーションやワークショップを実施した他、書道のワークショップ、各種展示を行いました。また、14日の開会式では志村大使公邸料理人による和食デモンストレーション及び寿司の試食が行われました。

森川医務官による講演会「ここは地の果て南極大陸」

11月7日(木)



11月7日、大使館の多目的ホールにおいて、森川医務官による講演会「ここは地の果て南極大陸」を開催しました。講演の中で、日本南極観測隊の任務や越冬隊医師としての業務、観測隊基地での様子について紹介しました。同講演会には、アルジェリア在住邦人の方にも出席いただきました。

小川大使のレポートーズによるインタビュー

11月7日(木)

11月7日、レポートーズ(当地フランス語ニュースサイト)に、「ジャパン・ウィーク」開会に際しての小川大使へのインタビューの記事が掲載されました。同記事は、「ティゲントウリン襲撃事件はまだ投資家の記憶に新しい」と題し、文化外交及び日本とアルジェリアの経済関係について紹介しています。

[【概要\(和文\)はこちら】](#)

即位の礼及び日・アルジェリア二国間関係に関する新聞記事の掲載

10月22日(火)

10月22日、即位の礼を記念し、オリゾン紙(仏語)及びハババル紙(アラビア語)に、新天皇陛下及び新元号の解説並びに日・アルジェリア二国間関係に関する記事を掲載しました。

[【オリゾン紙掲載記事\(フランス語\)はこちら】](#)

[【ハババル紙掲載記事\(アラビア語\)はこちら】](#)

第11回国際交響楽フェスティバルへの日本人音楽家参加

10月15日(火)



10月12日から17日にかけて、アルジェ・オペラにて開催された第11回国際交響楽フェスティバルに参加した日本人音楽家グループ「横浜シンフォニエッタ」(碓井俊樹さん(ピアノ)、日野妙果さん(メゾソプラノ)、依田晃宣さん(ファゴット)、武谷絵梨さん(バイオリン))を大使公邸にお招きしました。フェスティバル第4日目となる15日は日本、スウェーデン、ロシアの演奏が行われ、クラシック音楽の他、平城山や松島音頭といった日本の楽曲を披露していただきました。演奏後は、観客席から小川和也大使による花束贈呈が行われました。

小川大使のジュヌ・アンデパンダント紙によるインタビュー

9月3日(火)

9月3日、当地ジュヌ・アンデパンダント紙(フランス語紙)に小川大使へのインタビュー記事が掲載されました。同記事は、「アルジェリア・日本間の交流はまだ理想の手前にある」と題し、TICAD7及び日本とアルジェリアの経済関係について紹介しています。

[【概要\(和文\)はこちら】](#)

国際交流基金巡回展「映像と物質 版画の1970年代・日本」の開催

7月11日(木)～8月5日(月)



7月11日、アルジェ文化宮殿において、国際交流基金巡回展「映像と物質 版画の1970年代・日本」のオープニング・レセプションを実施しました。この展覧会は、映像を使用した作品に焦点をあてた「映像表現の時代」、物質の志向を造形化した作品に焦点をあてた「物質主体の像」の2つの章から構成され、日本の現代美術界に版画の時代を築き上げた14名の作家の作品を紹介しています。

巡回展「映像と物質 版画の1970年代・日本」は、アルジェ文化宮殿ギャラリー・バヤにおいて8月5日まで開催中です。

アルジェリア国立図書館への日本図書の寄贈

3月28日(木)



3月28日、日本大使館はアルジェリア国立図書館に対し、日本文化紹介図書、子供用絵本、日本漫画等約40冊の寄贈を実施しました。これらの図書は2018年アルジェ国際図書見本市で展示されたものであり、今後同図書館にて保管されます。

国費留学生壮行会の開催

3月26日(火)



3月26日、小川大使は、本年日本へ出発する4名の国費研究留学生、元国費留学生等を招き、国費留学生壮行会を開催しました。冒頭挨拶において小川大使は、新たに日本留学に行く4名の学生に対して激励の言葉を贈るとともに、彼らが将来日・アルジェリア二国間関係の強化に資する人材となることを期待する旨述べました。また、留学生からは、それぞれ留学に向けての抱負が述べられ、今後二国間交流の架け橋となる意欲が示されました。

アルジェリア外務省外交国際関係研究所(IDRI)への日本図書の寄贈

2月26日(火)



2月26日、鍋島徳子参事官はアルジェリア外務省外交国際関係研究所(IDRI)アミナ・メドゥア所長を訪問し、同研究所内図書館に小説や日本の歴史紹介図書等約40冊の寄贈を実施しました。

空手日本大使杯の開催

2月26日(火)



2月22日(金)～23日(土)、アルジェ市内エル・ハマメット体育館において、日本大使館とアルジェリア空手連盟の共催による空手日本大使杯が開催されました。空手が公式競技となる2020年東京オリンピックに向けて、アルジェリア各地から200名以上の空手家が参加しました。試合後、小川大使から各カテゴリー優勝者に対し、記念の優勝トロフィーが手渡されました。

建築・都市理工大学への日本図書の寄贈

2月13日(水)



2月13日, 建築・都市理工大学(Ecole Polytechnique d'Architecture et d'Urbanisme)に対し, 日本建築や日本文化紹介図書等約10冊の寄贈を実施しました。これらの図書は, 大学図書館にて保管される予定です。